



学校だより

かけはし ～学校評価(最終評価)臨時号～

令和5年2月発行

津幡町立井上小学校

12月の保護者アンケートのご協力、ありがとうございました。保護者の皆様同様、子供や職員もアンケートをとり、それらをもとにより良い学校づくりに役立てたいと考えております。また、1月下旬に行われた「学校評議員会」で話し合われたこともあわせてお伝えします。学校では3学期は1年を締めくくる期間であると同時に、令和5年度の0学期でもあると捉えています。今後とも、本校の教育活動をご理解いただき、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校訓
学校教育目標
目指す児童像

至誠 勤労 規律
自立する子・「合い」ある子の育成
◆自分で学ぶ子 ◆他と関わる子 ◆健康である子

今年度の重点目標(学校評議員会でも話し合われました)

I. 学力向上と授業力向上を目指して

《育む力》

- ①自分の考えを根拠や筋道を明確にして表現する力を育む。
- ②子供同士が意見をつなげ、意欲的に授業に取り組む態度を養う。
- ③外国語によるコミュニケーションの素地を育む。
- ④一人一台端末(chromebook)の基本動作を身に付け、活用する力を育む。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①色々な場を捉え表現力の育成に努めた結果、教科で身に付けた表現力を特活や学校行事でも生かせるようになってきた。
- ②教師主導の授業から、子供主体の授業づくりに努めた結果、児童が意欲的に取り組む姿が見られるようになった。
- ③外国語指導の困り感を教師同士で共有し、授業改善につなげることができた。
- ④一人一台端末については、教師自身のスキルが向上し、授業で活用する機会が増えてきた。



《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①話すだけでなく、「書く」力の育成にも重点を置き、表現力の育成に励む。
- ②山場を意識し児童のつながりを大切にした授業を行うために、どのタイミングでどんな仕掛けを行うのかを予め考えた授業に努める。
- ③評価のチェック項目を設ける等、次時の指導に役立てることができる評価方法をめざす。
- ④効果的活用事例を蓄積し、教育課程の中に組み込んでいく。

II. 人間性の向上と社会性の育成を目指して

《育む力》

- ①自分が考える「よりよい姿」について、客観的に自分で気づき、判断し、行動する力を育む。
- ②コミュニケーション力を高め、自己有用感の向上を目指す。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①各職員は、児童がきまりやマナーを守ることの意義やよさを自ら考えられるように、生活目標の取組や振り返りを工夫しながら指導し、成果を感じているが、児童や保護者アンケートでは7月の結果とほぼ変化はなかった。
- ②各職員は、児童の自己有用感が高まるよう、褒め・認める声かけに努めている。また、友達と良好な関係を築けるよう、温かい関わり方を指導してきた。しかし、児童や保護者アンケートでは7月の結果とほぼ変化はなかった。

《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①生活目標等の取組を終えた時に、児童が達成感を感じ、自らきまりやマナーを守っていこうと思えるように、各職員は小さな変化も見逃さず「成長している」「よくなっている」ことを児童に伝えていきたい。
- ②「ありがとう」「ごめんね」が言えないために、人間関係がうまく築けない場合が多い。「ありがとう」「ごめんね」という言葉の大切さについて、機会を捉えて考えさせていきたい。



III. 健康・安全教育の充実を目指して

《育む力》

- ①感染防止等、新しい生活様式を取り入れた行動の定着を目指す。
- ②体育の授業を中心に、児童の実態に合わせた体力の向上を目指す。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①7月同様、子供も各職員も健康を守るための意義と行動が身に付いてきている。
- ②7月よりは若干良い傾向にあると言えるが、体力アップ1校1プランに基づき、授業で弱点克服に努めているが、「投げる力」等の改善までには至っていない。

《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①感染予防については以前と変わらずしっかり取り組んでいる。児童の「自分の健康は自分で守る力」の育成につなげながら健康教育を推進していく。
- ②中学年以上は準備運動等で継続してシャトルボールに取り組む。

